

平成16年12月 検定試験

〔No.25〕 オート・エアコンに関する記述として、**不適切なものは**次のうちどれか。

- (1) 内気温センサに室内空気を循環させる構造として、アスピレータ型とファン型があるが、ファン型は、ブロー・ファン駆動時のみ室内空気が循環し、検出を行うものである。
- (2) エバポレータ温度センサは、主に凍結点温度と常温温度の検出を行っており、センサ特性はエバポレータの温度範囲が狭いため、その範囲の温度の変化に対して、抵抗値変化が大きいものとしている。
- (3) プレッシャ・スイッチは冷媒圧力を検知するため、高圧側配管に取り付けられており、冷媒圧力が低下した場合、及び異常に上昇した場合に接点がOFFになりエアコンの駆動信号を遮断する。
- (4) 水温センサは、エンジン冷却水がヒータ・コアを循環する温度を検出しており、一般的に電子制御式燃料噴射装置の水温センサと共用となっている。